

# 桜川市新庁舎建設実施設計 [概要版]

令和5年12月 桜川市

01 | 設計概要 02 | 外構図 03 | 1階平面図 兼 配置図 04 | 2階～4階平面図・屋根伏図 05 | 立面図 06 | 断面図 07 | 東庁舎 / 車庫・倉庫棟平面図



外観イメージ図

# 地形に寄り添い市民と職員がつながる市庁舎『みんなの段（協働の場）』

ステージ

デジタル化や情報化の急速な進展によって「行政手続き」が簡略化され「新たなコミュニケーション」が促進される現代において、様々な目的をもった市民（来庁者）から職員まで、あらゆる人々が快適に利用できる新庁舎です。  
 さらに市民・職員の協働を促す柔軟性をもった居場所を配置することで、桜川市の将来について語り合えるような場が生まれ、新庁舎は桜川市の未来へとつなげる役割を果たします。  
 そして山の裾野に様々な公共施設群が段状に集まるこの地で、市民・職員の日々の営みと自然の「風景」（地形）が折り重なり、新庁舎は、未来へとつなぐ「みんなの段（ステージ）」として機能します。

## ○桜川市・大和地区・敷地の特性を踏まえた新庁舎の『3つの特徴』

「市全体の特徴」「大和地区の位置付け」そして「新しい庁舎が建つ敷地」という、異なるスケールにわたった広い視野をもち、羽田山の裾野に“拠点（周辺公共施設）”が段状に集まる“この地ならではの”の「特性」を、この地ならではの“の「魅力」へと昇華させる、『3つの特徴』をそなえた新庁舎です。

特徴① 市の行政中心（大和地区）に対する新庁舎のあり方

**歴史も踏まえた行政エリアの再構築**

凡例：  
 ▲△出入口  
 3つの地盤レベルにまたがる周辺施設や道路から、それぞれ出入口を設け、「スムーズなアクセス」で効率性と連携を高めます。

特徴② 特徴的な地形の敷地に対する新庁舎のあり方

**地形を活かした見る～見られるの構成**

地形を活かした『見る～見られる』の関係が、来庁者・職員にとってわかりやすく、快適で、バリアフリーな市民協働の場を生み出します。

特徴③ 市の豊かな山並みに対する新庁舎のあり方

**山並みに呼応した風景・環境づくり**

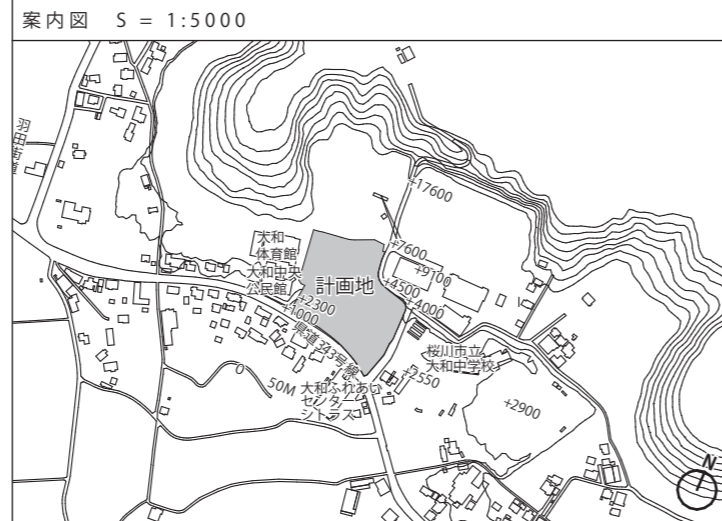
山並みと共生するように上層階をコンパクトに計画し、「環境」に対する負荷軽減と庁内連携がしやすい「業務効率」を両立させます。

計画概要	
工事名	桜川市新庁舎建設工事
建築主	住所 茨城県桜川市羽田1023番地
	氏名 桜川市
建築場所	住所 茨城県桜川市羽田1023番地外
主用途	市役所庁舎機能
工事種別	新築(一部改修)
工期(予定)	令和6年3月頃～令和8年10月頃



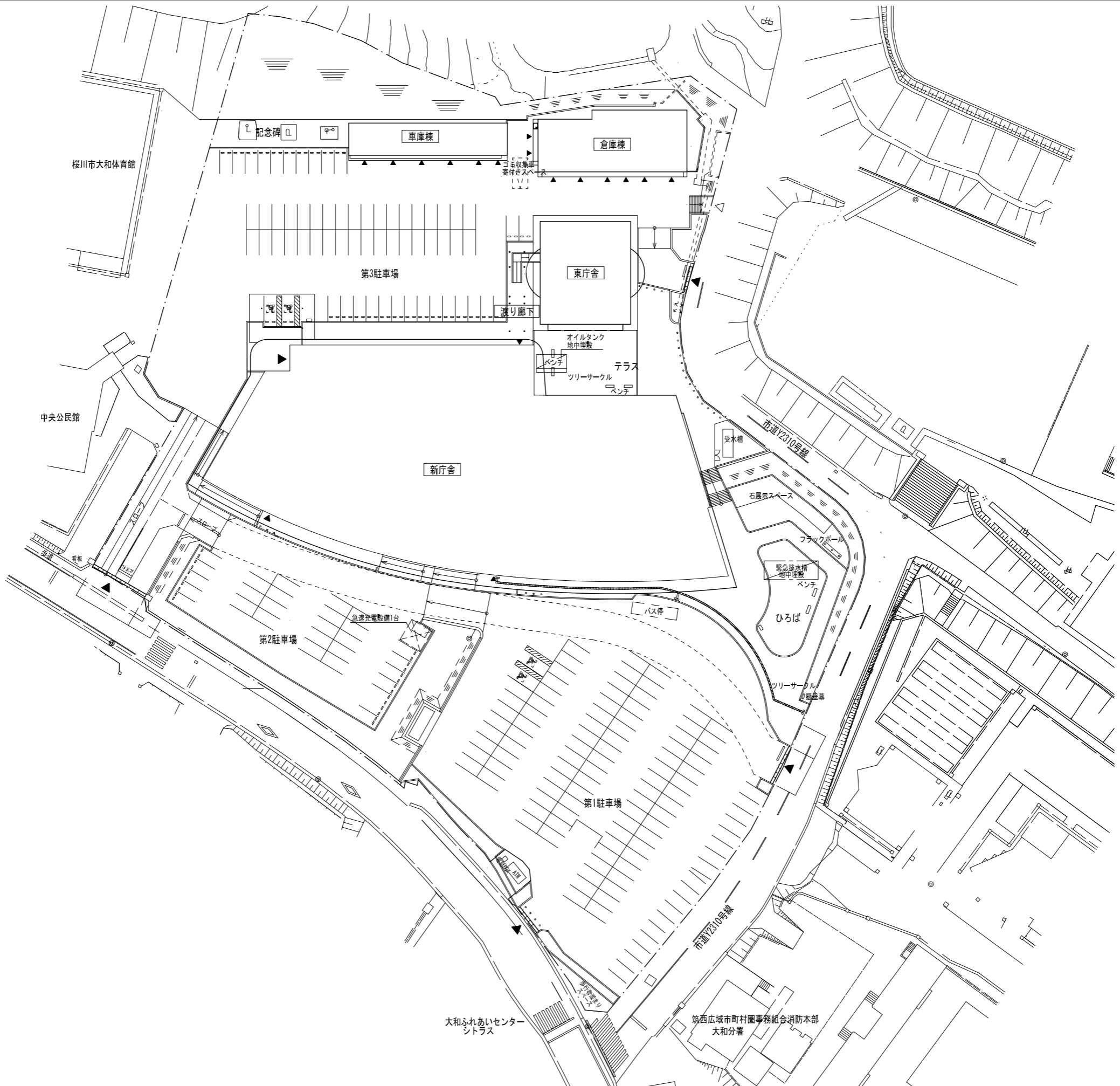
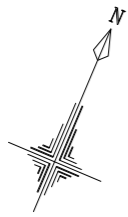
鳥瞰イメージ図(南東より)

敷地概要	
都市計画区域	都市計画区域内(市街化区域)
用途地域	第一種中高層住居専用地域
建蔽率	60%
容積率	200%
日影規制	2.5時間-4時間 測定面高さ平均地盤面より4.0m
道路斜線	適用距離 20m 勾配の数値 1.25
防火地域・法22・23条指定区域	指定なし
地区計画・景観計画・景観地区	指定なし
建築協定	なし
敷地面積	17,325.06㎡
道路幅員	東側 市道Y2310号線(幅員4.5～11.5m・進入路あり)
	南側 県道木崎雨引線(幅員8.5～8.7m・進入路あり)
	北側 市道Y2310号線(幅員0.5～3.6m・進入路なし)
地表面相区分	Ⅲ
基準風速V0	V0=32m/S
垂直積雪量	40cm



建築概要									
構造の種類	PCaPC造・PC-S造、一部S造								
階数	地上4階								
耐火種別	耐火建築物								
建物高さ	20.672m								
建蔽率	27.29%								
容積率	57.60%								
面積	工事名称	建物名称	建築面積	階数	延床面積	容積対象外面積			
	桜川市新庁舎建設工事	新庁舎	3,665.94㎡	1階	3,460.80㎡	11.86㎡			
				2階	1,673.24㎡	11.86㎡			
				3階	1,659.11㎡	11.86㎡			
				4階	1,394.99㎡	11.86㎡			
		小計	8,188.14㎡	47.47㎡					
	桜川市新庁舎建設工事	渡り廊下	58.08㎡	1階	0㎡	0㎡			
				2階	43.81㎡	0㎡			
				3階	43.81㎡	0㎡			
				小計	87.62㎡	0㎡			
	桜川市新庁舎建設工事	東庁舎	384.76㎡	1階	341.50㎡	0㎡			
				2階	342.09㎡	0㎡			
				3階	384.56㎡	0㎡			
				小計	1,068.15㎡	0㎡			
新庁舎建設事業付属棟新設工事	車いす駐車場	82.62㎡		82.62㎡	82.62㎡				
			受水槽	8.30㎡		8.30㎡	8.30㎡		
					中計	4,199.70㎡	中計	9,434.83㎡	138.39㎡
					単庫棟	194.06㎡	1階	194.06㎡	176.72㎡
2階	333.00㎡	0㎡							
	小計	666.00㎡							
	中計	528.95㎡	中計	860.06㎡	176.72㎡				
	合計	4,728.65㎡	合計	10,294.89㎡	315.11㎡				
昇降機設備概要									
エレベーター設備	1号機	乗用20人乗り 着床階：1-4階	ストレッチャー対応						
	2号機	乗用15人乗り 着床階：1-4階	バリアフリー対応						

電気設備概要	
受変電設備	3相3線、6.6kV.50Hz、1回線受電 屋内キュービクル型、油入変圧器
非常用発電設備	ディーゼルエンジン(400kVA)、連続運転72時間 燃料：軽油、地下タンク7000L
太陽光発電設備	既存移設工事：太陽光発電パネル17.14kW、蓄電池システム容量15.0kWh
幹線動力設備	本工事：金属配線、ケーブルラック配線
その他動力設備	別途工事：急速充電設備
電灯コンセント設備	照明：LED照明、人感センサー、昼光センサー等による照明制御 コンセント：OAタップコンセント(執務)
構内交換設備	本工事：配管配線、機器、取付調整
構内情報通信設備	本工事：配管配線 別途工事：機器取付調整
その他情報・通信設備	本工事：テレビ共同受信設備、映像・音響設備、誘導支援設備、議場設備 情報表示設備、防災無線設備 別途工事：窓口案内設備
防犯設備	本工事：監視カメラ設備、入退管理設備 別途工事：機械設備
防災設備	非常照明・誘導灯設備、自動火災報知設備、非常放送設備、雷保護設備
機械設備概要	
熱源設備	空冷ヒートポンプモジュールチラー(天井放射系統(冷却・加熱能力118kW×1) 空冷ヒートポンプモジュールチラー(空調和機・床放射系統(冷却・加熱能力118kW×3)
空調設備	中央熱源方式+個別熱源方式(災害時利用対象室など)
換気設備	居室：デシカント外調機、全熱交換器による第1種換気 便所・倉庫など：排気ファンによる第3種換気
排煙設備	自然排煙
自動制御設備	BEMSによる中央監視設備
給水設備	上水：受水槽+加圧給水方式 雑用水：地下ビット水槽+加圧給水方式
給湯設備	局所方式(電気温水器)
排水設備	屋内合流式、緊急排水槽
消火設備	屋内消火栓設備、スプリンクラー設備
省エネ設備	放射冷暖房(床・天井)、デシカント外調機



桜川市大和体育館

肩厚保

ゴミ収集車  
寄付きスペース

第3駐車場

中央公民館

渡川廊下  
※東庁舎は別図による  
書庫(E1-1)

オイルタンク  
地中埋設

渡り廊下

オイル  
ポンプ室

テラス

ソリーサークル

ベンチ

市道Y2310号線

石展示スペース

ブラックポール

緊急排水槽  
地中埋設

ベンチ

ひろば

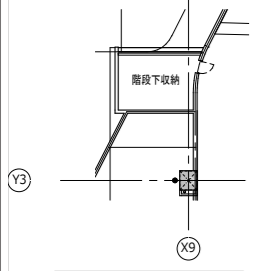
看板

スロープ

スロープ

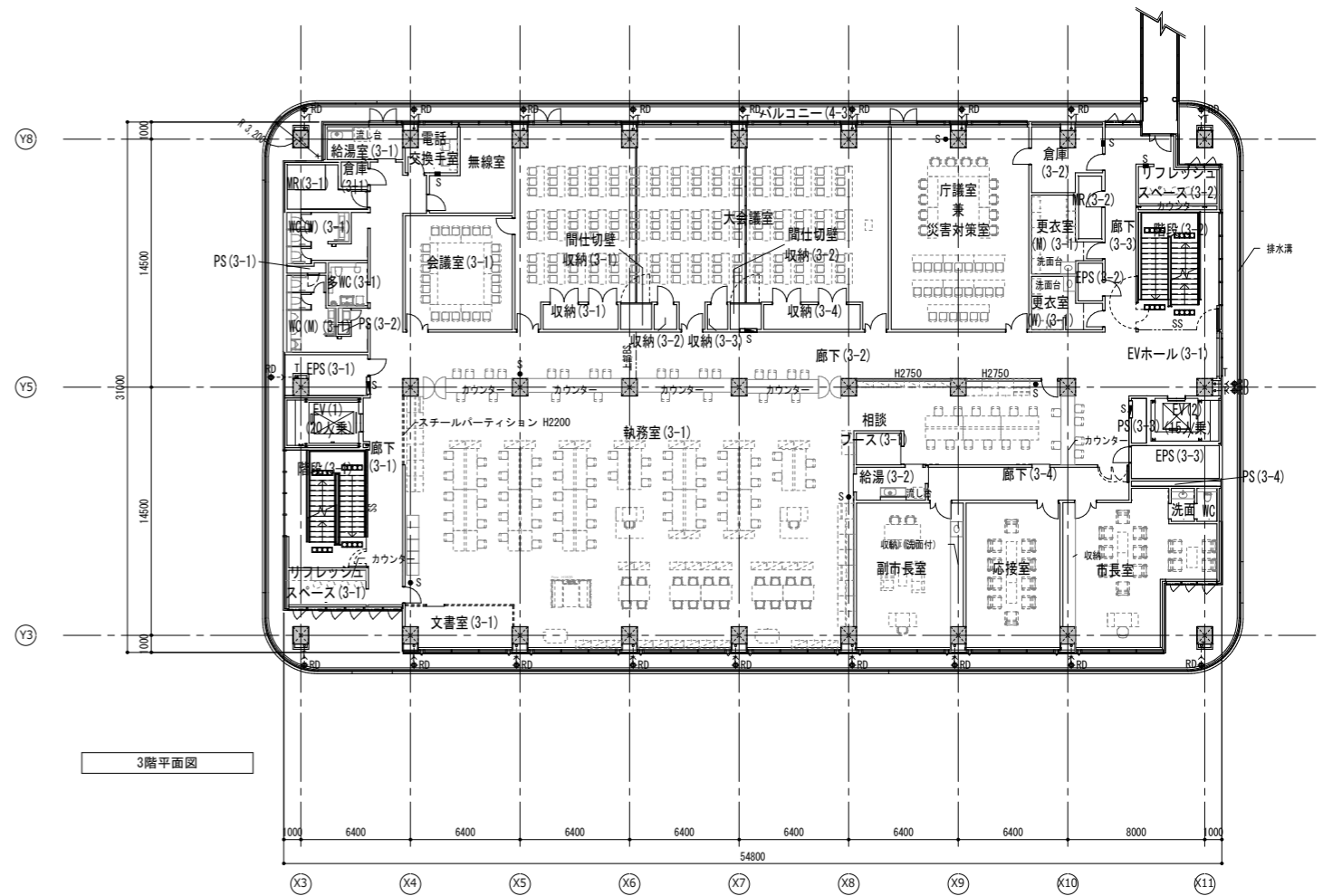
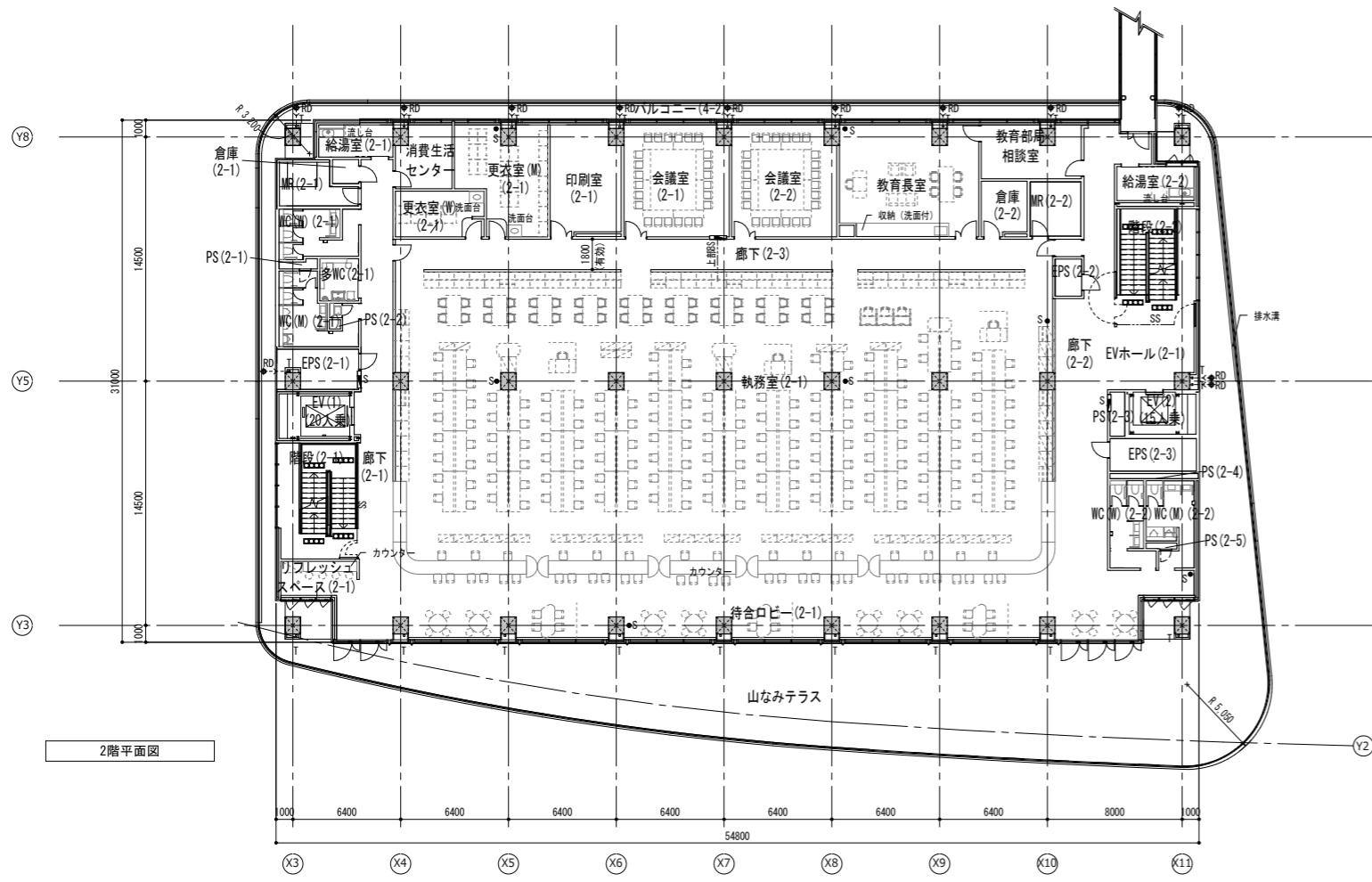
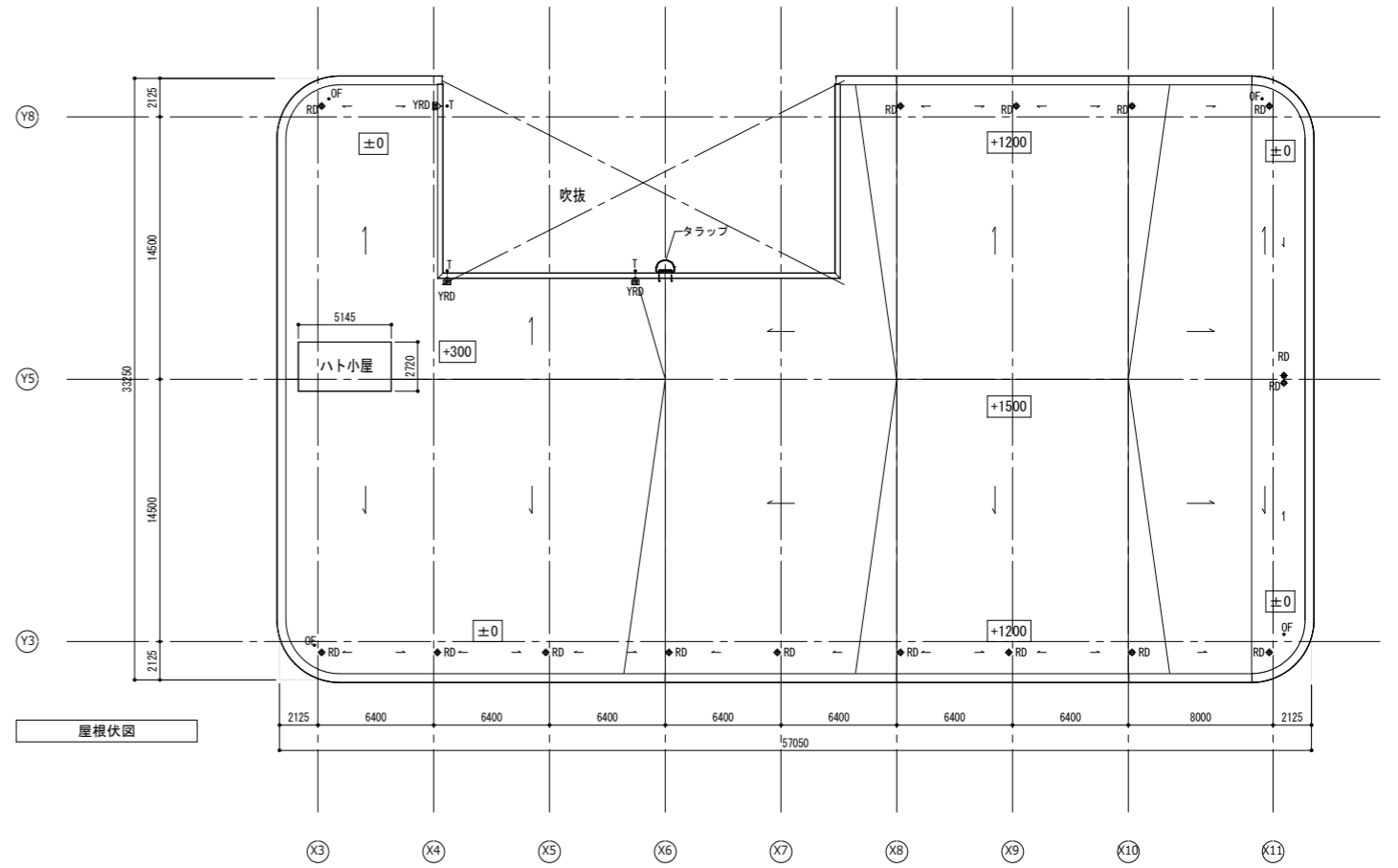
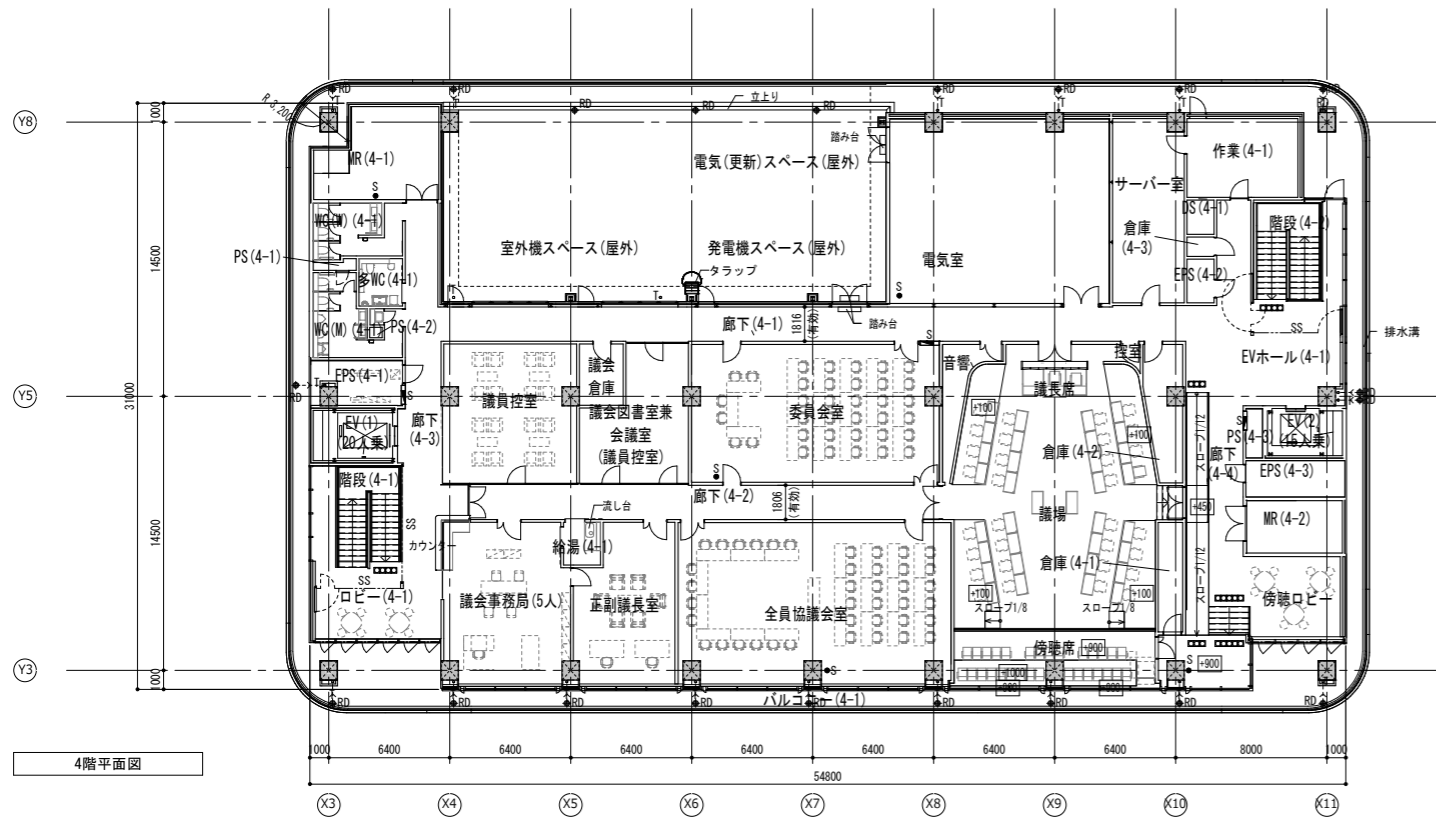
急速充電設備1台

バス停

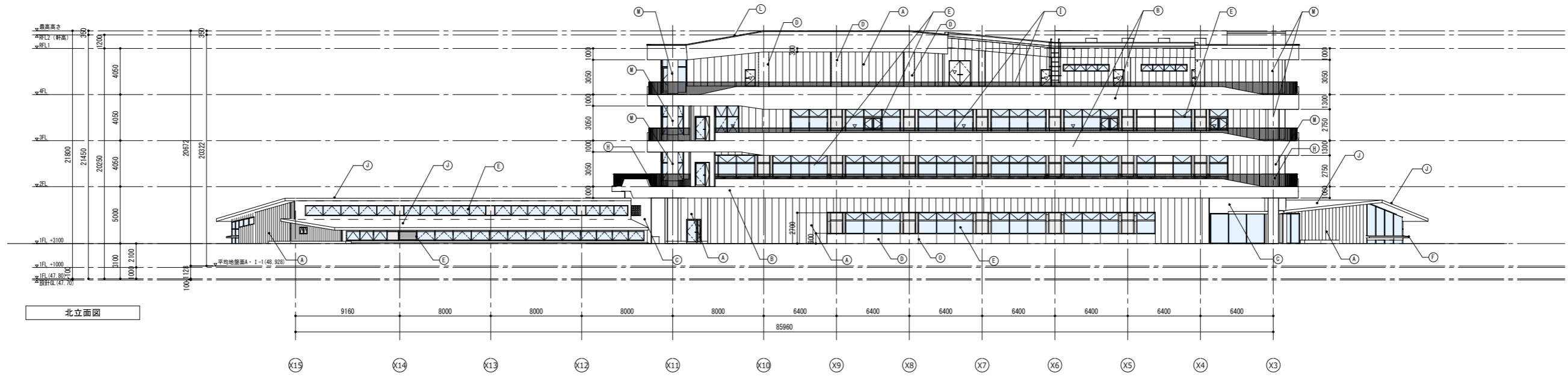


1階平面図 階段下収納

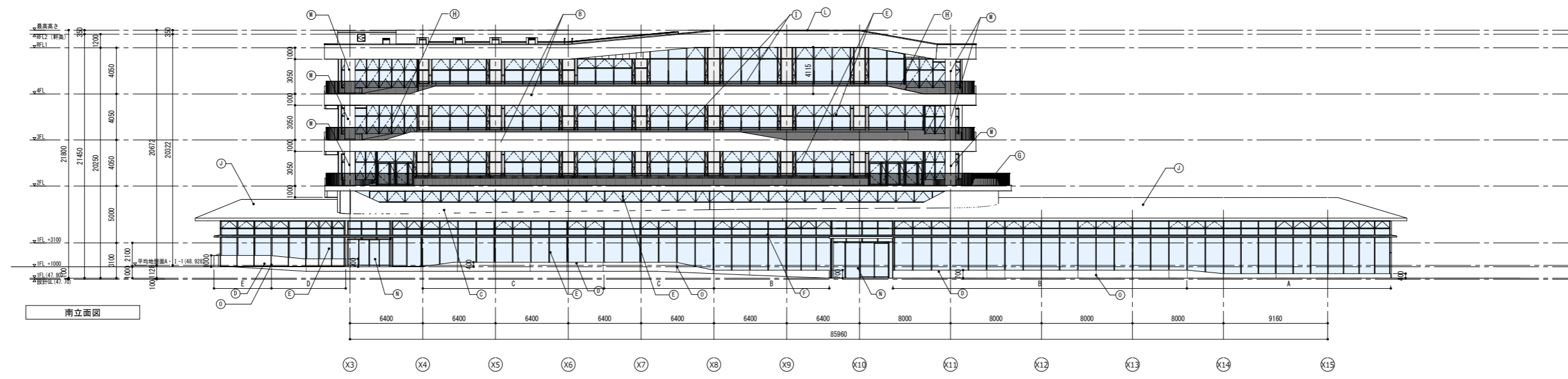
SS	スチールシャッター	屋内消火栓(設備工事)	コーナーガードA	ルーフドレイン(特記以外φ100)	伸縮目地(屋上面)
防	防煙シャッター	屋内消火栓(設備工事)消火器併設	床点検口(600口 防水防臭 977付)	中継&フッドレイン(特記以外φ100)	タラップ
		消火器ボックス(置型)	マンホール(600φ 防水防臭 977付)	横引き&フッドレイン(特記以外φ100)	水流れ方向(水勾配1/100)
		消火器ボックス(埋込型)	視覚障害者誘導床材	壁樋(特記以外鋼管φ100)	機械基礎 W×D×H
		丸理	視覚障害者注意喚起床材	天井内横引き管	床レベルを示す
		壁点検口(水抜きパイプφ50)		オーバーフロー管	



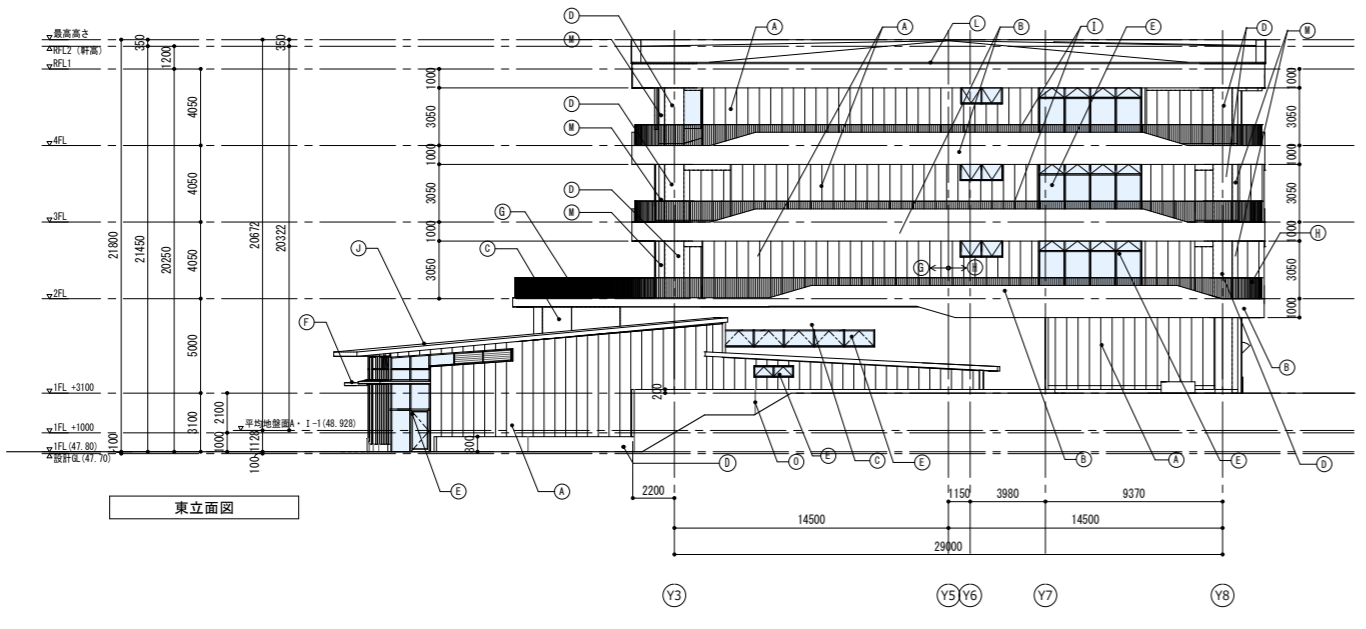
—SS—	スチールシャッター	■	屋内消火栓(設備工事)	○	コーナーガードA	⊕	ルーフドレイン(特記以外φ100)	⊞	伸縮目地(屋上面)
—防—	防煙シャッター	■	屋内消火栓(設備工事)消火器併設	⊗	床点検口(600φ 防水防臭 7ヶ付)	⊕	中継3-Fドレイン(特記以外φ100)	⊞	タラップ
●	消火器ボックス(置型)	■	消火器ボックス(埋込型)	⊗	マンホール(600φ 防水防臭 7ヶ付)	⊕	横引き4-Fドレイン(特記以外φ100)	⊞	水流れ方向(水勾配1/100)
●	消火器ボックス(埋込型)	■	消火器ボックス(埋込型)	⊗	視覚障害者誘導床材	⊕	縦樋(特記以外鋼管φ100)	⊞	機械基礎 W×D×H
●	丸型	■	丸型	⊗	視覚障害者注意喚起床材	⊕	天井内横引き管	⊞	床レベルを示す
▽	壁点検口(水抜きパイプφ50)	■	壁点検口(水抜きパイプφ50)	⊗	壁点検口(水抜きパイプφ50)	⊕	壁点検口(水抜きパイプφ50)	⊞	壁点検口(水抜きパイプφ50)



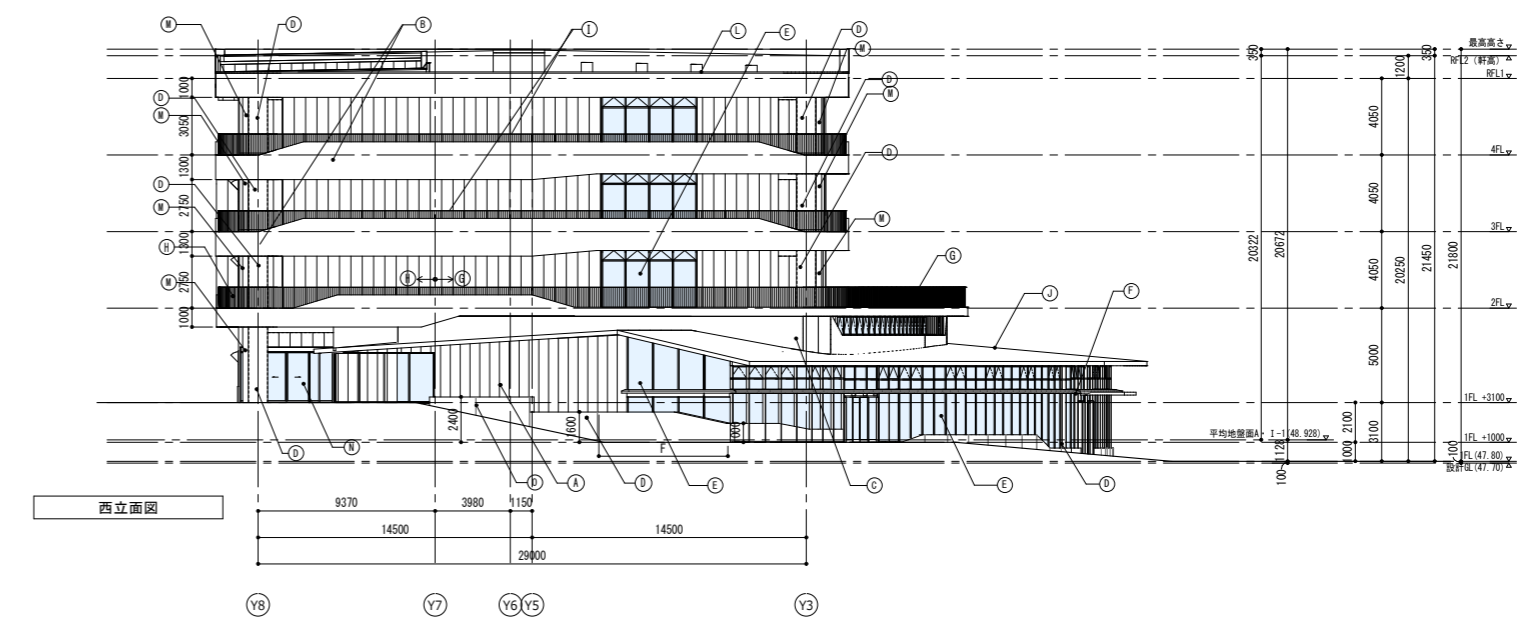
北立面図



南立面図



東立面図



西立面図

A	ECP (PU)	G	手摺: 鋼製溶融亜鉛メッキ (PU)	M	アルミ製パネル + A-BE	▽	代替出入口
B	アルミスパンドレル	H	手摺: 鋼製溶融亜鉛メッキ (PU)	N	ステンレスサッシ	▼	非常用出入口
C	堅ハゼ葺き	I	手摺: 鋼製溶融亜鉛メッキ (PU)	O	誘発目地		
D	RC打ち放し (A) + DP (A)	J	カラーガルバリウム鋼板 (t=0.4) 平滑葺				
E	アルミサッシ	K	再生木製ルーバー	A~F	隠蔽部の凡例を示す		
F	アルミパネル (t=2.0) 加工 + F-BE	L	アルミ笠木				

